

全苗連だより

Vol. 73 (7月号)

令和2年7月31日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

(技術情報)

令和2年度関東地区特定母樹等普及促進会議が開催されました

7月22日(水)に国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターの主催で、令和2年度関東地区特定母樹等普及促進会議が開催されました。今年は新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため、ウェブシステムを使用しての初めてのオンライン開催でした。

毎年、この時期に開催され、スギやヒノキ、カラマツの特定母樹についての情報提供等がなされています。今年はヒノキ特定母樹を中心に情報や話題の提供がありました。

令和元年度末現在、ヒノキについては、全国で53種類、関東地区(関東育種基本区)では17種類が特定母樹に指定されているとのことです。今回は、ヒノキ特定母樹が指定されるまでの経過や特定母樹に指定されたヒノキの特性についての説明等がありました。

ヒノキ特定母樹の申請にあたって、林木育種センターは関東地区にある6箇所の試験林(検定林)に植栽されている約1万7千本の試験木の中から、樹高、胸高直径、幹の通直性、雄花着花性等を調査して、特定母樹の指定基準をすべて満たす17個体を申請し、農林水産大臣により特定母樹として指定されているとのことです。

今回は、これまでの検定林での調査結果をもとにして、特定母樹から生産される種苗の成長特性について、その予測結果が示されました(図参照)。30年次の材積で評価した場合、特定母樹では在来の系統の約1.6倍になるとのことでした。

今後の林業の活性化、成長産業化に向けて、このような種苗が一日も早く普及するようになることが待たれます。

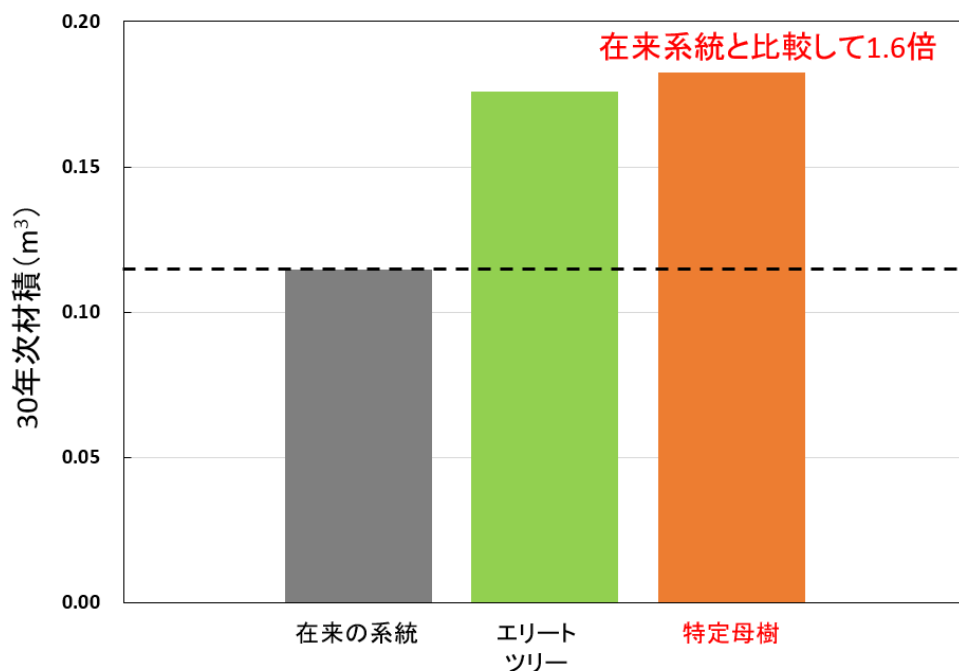


図 育種価を用いて算出した30年次材積の比較

※育種価は、検定林調査の結果から推定されたヒノキの種類ごとの遺伝的能力を数値で表したものの。

(林木育種センター提供)

新型コロナウイルス感染症への対応について

・「経営継続補助金」の2次募集スケジュールが公表されました

経営継続補助金の2次募集スケジュールが公表されました。

・1次受付開始: 令和2年6月29日(月)

1次受付締切: 令和2年7月29日(水) ← 終了

8月中～9月上旬(7月29日の締切後、採択審査、採択(交付決定)・不採択通知)

・2次受付開始: 令和2年9月中旬

2次受付締切: 令和2年10月中旬

10月中～11月中旬(2次募集採択審査、採択(交付決定)・不採択通知)

○経営継続補助金(農林水産省 HP アドレス)

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>

○経営継続補助金【公募要領等】(全国農業会議所経営継続補助金 HP アドレス)

<https://keieikeizokuhojokin.info/index.html>

新型コロナウイルス感染症への対応について（２）

- ・「種苗事業のガイドライン」は全苗連HPに「事業継続に関する基本的なガイドライン」としてUPしてあります

「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」や新型コロナウイルス感染症対策本部等からの連絡事項等につきましては、情報があり次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしてありますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

5月1日～R3.3.31 令和2年度研修(苗木生産技術の向上等事業)【全苗連HP“研修予定表”参照】

7月9日 生産事業功労者等選考委員会(全苗連(書面審査))

7月9日 第2回全苗連正副会長会議(全苗連(中止))

7月10日 林業団体懇談会(日本林業協会)(石垣記念ホール)

7月22日 関東地区特定母樹等普及促進会議(森林総合研究所林木育種センター)(Web会議)

7月28日 当年生苗導入調査委託事業検討委員会(日本森林技術協会)

8月6日 全苗連東北・北海道地区協議会総会(北海道函館市)

～7日

9月3日～4日(延期)

第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)につきましては、令和3年開催(令和3年9月2日～3日、同会場)に延期となりました。

11月11日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(兵庫県)

11月17日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(宮崎県)